

「基礎・基本」定着状況調査の結果について（概要）

広島市立荒神町小学校

今年度も広島県内の学校では、5年生児童を対象に「基礎・基本」定着状況調査が行われました。全県の結果も出ましたが、本校の結果から考察した概要をお知らせします。

調査の内容は、「国語」と「算数」の各教科に加え、学校や家庭での学習や生活の様子に関する質問紙です。

国語

話を聞き、その話のポイントとなる部分を聞き逃さず、要点を整理することはよくできています。文章を読むこともよくできています。物語文では場面の移り変わりを理解し、情景などをよく想像しています。説明文では、接続詞を適切に使って段落相互の関係を把握することができています。書くことに関しては、理由を挙げて文章を書くことはできています。また、文章を推敲することもできています。ただ、課題として次の事が残りました。漢字の読み書きの問題です。画数の多い漢字や複雑な構造の文字になると定着まで今一步です。

話を適切に聞くことや文章を読み取ることは学習の基礎となることです。この部分が達成できていることは大きな意味を持っています。また、家庭での読書習慣が身につけている子も多く、多くの文章に触れることは今後も大切にしていきたいと思います。ただ、これからは簡易な文章からより難易な文章を読む力の育成に力を入れたいと思います。そして、家庭学習で日記を毎日書くことの習慣は今後も続けていきたいと思います。これまでに書き続けた文章は相当な量になっています。パソコンを使った文字や文章の読み書きが日常的に大きなウエートを占める時代になりましたが、鉛筆で書くことも一方では大切にすべきことだと思います。読み書きは表裏一体の関係です。ローマ字も含めて、読めても書けないことからの脱却を図っていききたいと思っています。

算数

整数の足し算・引き算・かけ算・わり算の四則計算や少数や分数の引き算はよくできています。また、（ ）を使うことによって一つの式にすることや四則が混合した計算なども確実にできています。表やグラフから情報を読み取ることも正確にできています。繰り返し反復する中で定着しやすいこれらの学習課題に対しては自信を持っています。一方、逆に課題も残りました。一つ目は図形の性質や作図です。これは今後復習させることで解決を図ります。二つ目は重さやかさなどを比較する学習です。重さは目に見えないため、子どもにとっては感覚をなかなかつかみにくいものです。経験の積み重ねによって理解ができてくるという特性があります。かさについては単位が様々あり、単位を換算することは容易な学習ではありません。これもやはり経験の積み重ねが必要です。これらについては繰り返し経験させることと、具体的な体験を含めた学習を展開しながら指導をしていきたいと思っています。

学習に関する意識調査

「もっとわかるようになりたい」「将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから」との思いをもって勉強しています。常に向上心を持って勉強し、それによって達成感を感じている様子がうかがえます。学習週間としては宿題として出された学習以外の復習、また次の日の予習までにはなかなか至っていませんが、学習の大切さは強く意識しています。読書への関心が高く、国語と算数いずれにも意欲関心を持っています。今後は、これまでに身につけた基礎・基本の力を活用して、これから必要になってくる思考力や表現力等の力を身につけさせるため、より一層支援を進めていきたいと思います。

生活などに関する調査

朝食を食べることは習慣化しています。外で遊ぶことや体を動かすことも意欲的に行っています。これらのことは、子どもが成長するために非常に大切なことであり、すばらしいことだと思います。自分から進んで挨拶をする習慣も身につけています。自分が住んでいる町が好きだとの思いも強く、地域行事にも積極的に参加しています。地域の人と触れ合う心地よさを感じている一つの表れです。また、自分の将来に夢や目標を持っています。自分の夢は実現するとの思いを多くの子が抱いており、自己肯定感の高さがうかがえます。一方、いくつか課題が残りました。起床時刻は毎日一定のようですが、就寝時刻は日によってばらつきがあるようです。また、テレビを視聴する時間やゲームをする時間が長時間になっています。授業日が決して短いわけではありませんが、休日になると相当時間が長くなるようです。自由な時間が少なくなってきたり時間を自由に使いたいとの子どもの思いはあると思いますが、これを契機として時間の使い方をじっくり考えていきたいものです。

学校として取り組むこと

以上の結果から、学校では引き続き、授業の中で子どもが達成感を味わうことができる場を設定し、「聞く・読む」「話す・書く」「話し合う」などの学習を始めとして、学力の定着を図りたいと思います。また、行事でのかかわりも含めながら思考力や表現力が身につくよう研究を推進していきます。授業時間や休憩時間あるいは給食時間など、子どもたちは様々な時間を通して経験し新たな学びを薦めています。すべての教育活動を通して、一人一人の子が自分の未来に向かってしっかりと歩むことができるよう、指導・支援を進めていきたいと思います。

家庭に協力していただきたいこと

高学年になると、精神的にも揺れることが多くなります。「昨日までは全くそんなことがなかったのに」と思うような言動を見せるときでもあります。また、社会の出来事などにも敏感になります。社会での出来事などの話題を共有することで、子どもたちは「大きくなっていく自分」「成長している自分」「今までとは違う自分」を意識し、大きな成長を始めます。敏感な時期だけに話をする場を増やしていくことを意識していただけたらと思います。今後も学校や家庭そして地域で協力し、それぞれの役割を考えながら、子どもの成長に向けて力になっていきたいと思います。